

2020年9月18日

21世紀金融行動原則 オンラインセミナー 第1回保険業務WG

第一生命のインパクト投資

一生涯のパートナー

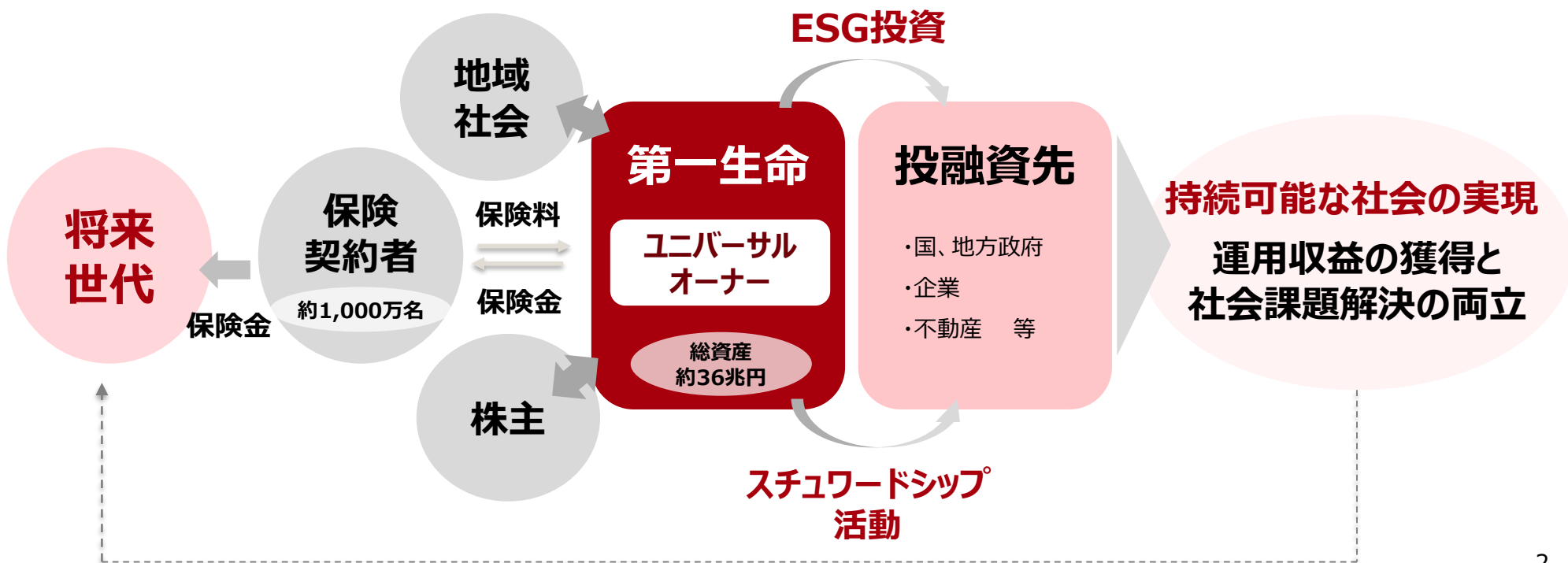
第一生命



Dai-ichi Life Group

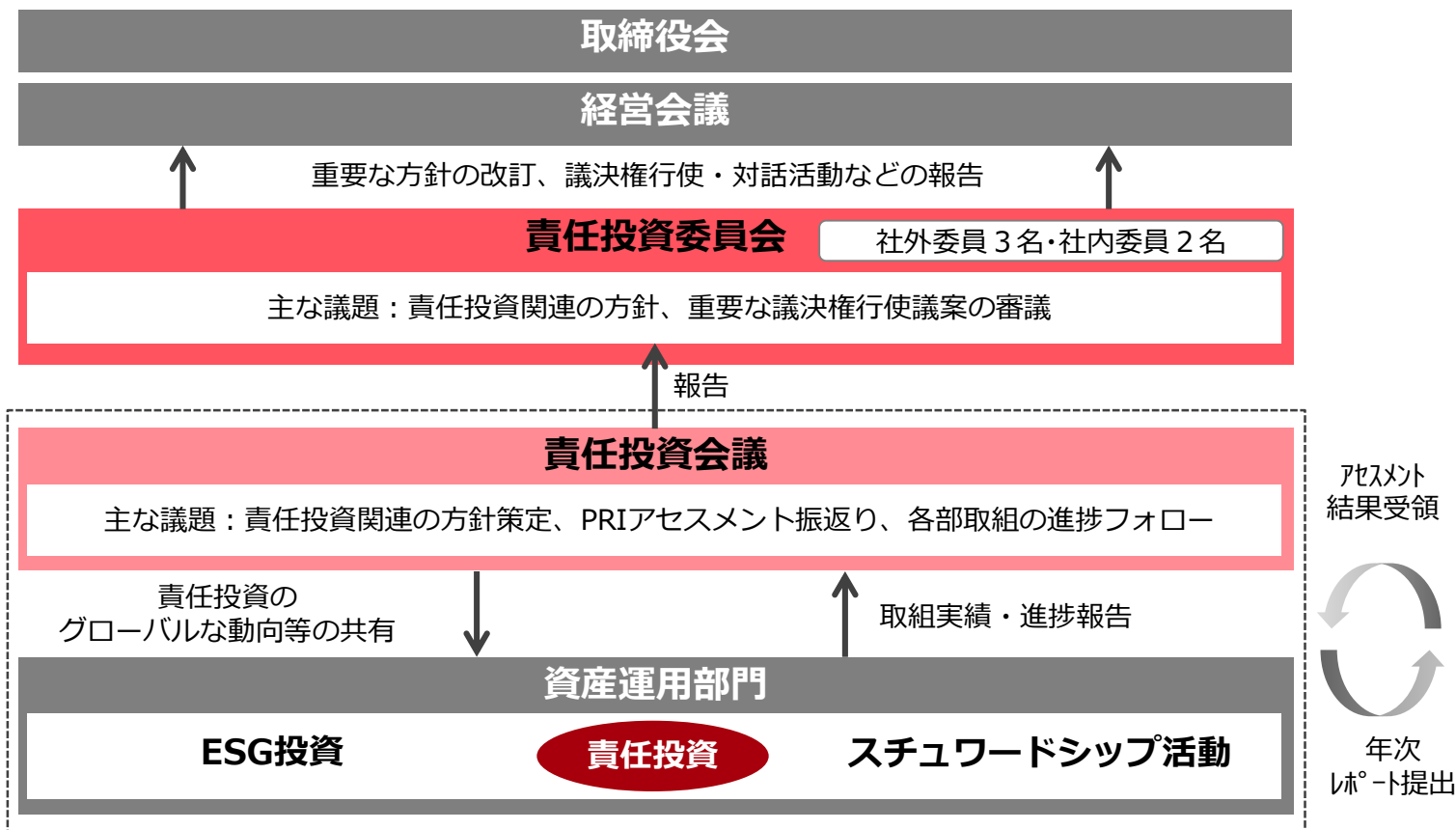
第一生命が目指す姿

- ◆ 全国に約1,000万名のご契約者を抱え、幅広い資産を保有する「ユニバーサル・オーナー」として、多様なステークホルダーを意識した資産運用を行う必要があると認識しています。
- ◆ 当社が担う生命保険事業は、現在と将来の懸け橋として次の世代を守る大切な仕事であると認識しています。こうした中において、我々の最大のステークホルダーは次の世代だと考えており、その将来をサステナブルなものにしていくことが使命だと認識しています。
- ◆ 「一生涯のパートナー」をミッションに掲げる当社の重要な取組の一つに責任投資（ESG投資・スチュワードシップ活動）を掲げ取組を推進すること、で中長期的な投資リターンの獲得と持続可能な社会の実現を目指します。



責任投資の推進体制

- ◆ 社外委員が過半を占める「責任投資委員会」の審議を経て責任投資に関する方針等を策定するとともに、特に重要な内容については、取締役会や経営会議にも報告を行っています。
- ◆ また、実務担当者で構成される「責任投資会議」における進捗フォロー・議論等を通じて、資産運用部門全体の取組を推進し、PRIの年次アセスメント結果を活用してグローバル水準を踏まえた取組のレベルアップを実施しています。



Signatory of:



2005年に策定。責任投資のグローバルスタンダード。持続可能な社会の実現のため、ESG課題を投資判断に組み込むことを提唱。

第一生命のESG投資の基本方針

- 中長期視点で幅広い資産を保有する機関投資家（ユニバーサル・オーナー）として、ESG投資を資産運用の柱として位置づけ、運用収益の獲得と社会課題解決の両立を目指す
- “第一生命らしい” ESG投資として、「ポジティブ・インパクトの創出」や「エンゲージメント」に力点を置いた取組を推進

① 全資産の運用方針・運用プロセスにESGを組込（2023年度完了を目標）

運用収益獲得と社会課題解決を両立する資産ポートフォリオの構築

- 各資産の運用方針やポートフォリオ構築プロセス、社内投融資ランクへのESG要素組込により、全資産で気候変動リスク等を踏まえた投資判断を実施し、ESGリスクの低減・機会の収益化を通じて、中長期的なポートフォリオのレジリエンスを強化
- 社会の持続可能性の観点から高いリスクを有するセクターへの投融資を禁止（特定の兵器製造企業、国内外の石炭火力発電・石炭採掘事業）

② 当社が設定する重点的な社会課題の解決に向けた投融資（2023年度迄に累計投資金額を倍増以上）

社会課題解決に資する資産への投融資を通じて社会へのポジティブ・インパクトを創出

- グリーンボンド・ソーシャルボンド等のSDGs債や国内外の社会インフラ整備に資するSDGs事業等に積極的に投融資
- 革新的なイノベーションの創出に向け、成長企業・ベンチャー企業への投資（インパクト投資）を拡大

重点的な社会課題

QOL向上

貧困撲滅・格差是正・個人資産形成・健康寿命延伸・女性活躍等の推進、各種イノベーションの創出を促進

気候変動の緩和

再生可能エネルギーの普及等の低炭素社会への移行促進、革新的な環境イノベーションの社会実装支援

地方創生・地域活性化

地域産業の成長・事業創出支援、産官学連携による地域活性化への貢献（街づくり等）

- 社会的インパクトのモニタリング手法を確立し情報開示を強化（当社運用ポートフォリオのCO2排出量や、投融資を通じたポジティブ・インパクト創出量について検討）

③ 投資先企業のESG取組促進に向けたスチュワードシップ活動

投資先企業との対話（エンゲージメント）を通じて、社会課題解決に向けた企業の前向きな取組や行動変容を後押し

- エンゲージメントの主要テーマとして「ESG取組」を設定し、投資先企業のESG課題に応じた情報提供および解決策の提案を実施
- 「気候変動の緩和」に向け、企業の気候変動取組の促進や、気候変動がもたらす財務インパクトを含めた情報開示を促す
- 投資先企業を含む社会全体への影響力の発揮に向け、国内外の協働エンゲージメント団体やイニシアティブ等へ積極的に参画
- 成長ステージ毎に異なる投資先企業の課題に寄り添ったエンゲージメントを通じて、対話内容も踏まえた適切な議決権行使を実施

(参考) 2023年度末までにESGインテグレーション完了

- ESG要素を体系的に投資プロセスに組み込み、運用収益獲得と社会課題解決を両立するポートフォリオを構築
- ESGリスクの低減・機会の収益化を通じ、中長期的なポートフォリオのレジリエンスを強化

現状

目指す姿 (2023年度末)

リサーチへの ESG組込

株式・社債の投融资ランクにESG要素を組込

- 投融资先企業のESG取組を分析し、株式・社債の社内投融资ランクのマッチ調整を実施 (2019年度：気候変動影響分析を反映)
- 2020年度：ESGアナリストを設置

全資産のリサーチプロセスへ組込

- 企業評価だけでなく、国債等の資産でも組込を順次開始

ポジティブ・ スクリーニング

ESGインハウス運用

国内外株式の一部で運用中

- ESG評価が高い企業でポートフォリオを構築 (国内株式：2010～、外国株式：2019～)

全資産の運用方針・運用プロセスへ組込

- 資産配分の決定・各資産の投資判断においてESG要素を体系的に考慮
- 保有不動産の消費電力ゼロ・カーボン化を前倒し達成 (2020年代後半)

ネガティブ・ スクリーニング

社会の持続可能性の観点から投資除外

- 兵器製造企業 (クラスター弾、生物兵器、化学兵器、対人地雷等)
- 国内外の石炭火力発電・石炭採掘事業

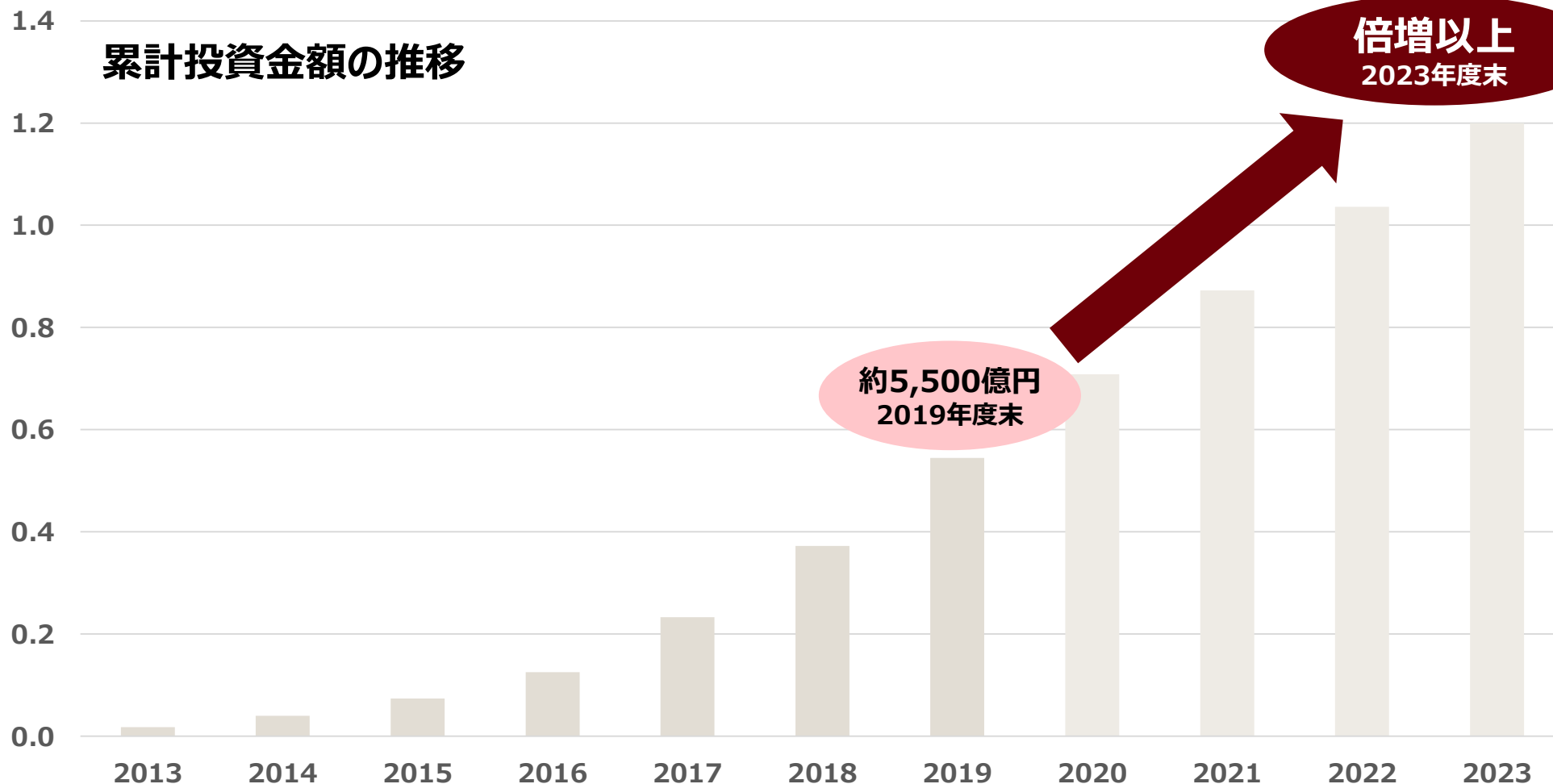
国内外の社会情勢等も踏まえつつ、持続可能性の観点による対象追加を継続的に検討・実施

(参考) 2023年度末までにESGテーマ型投資を倍増

- 「QOL向上」・「気候変動の緩和」・「地方創生・地域活性化」を中心とした投融資の累計は約5,500億円に到達
- 更なる社会へのポジティブ・インパクト創出に向けて、2023年度までに投資金額を倍増以上に拡大

(兆円)

累計投資金額の推移

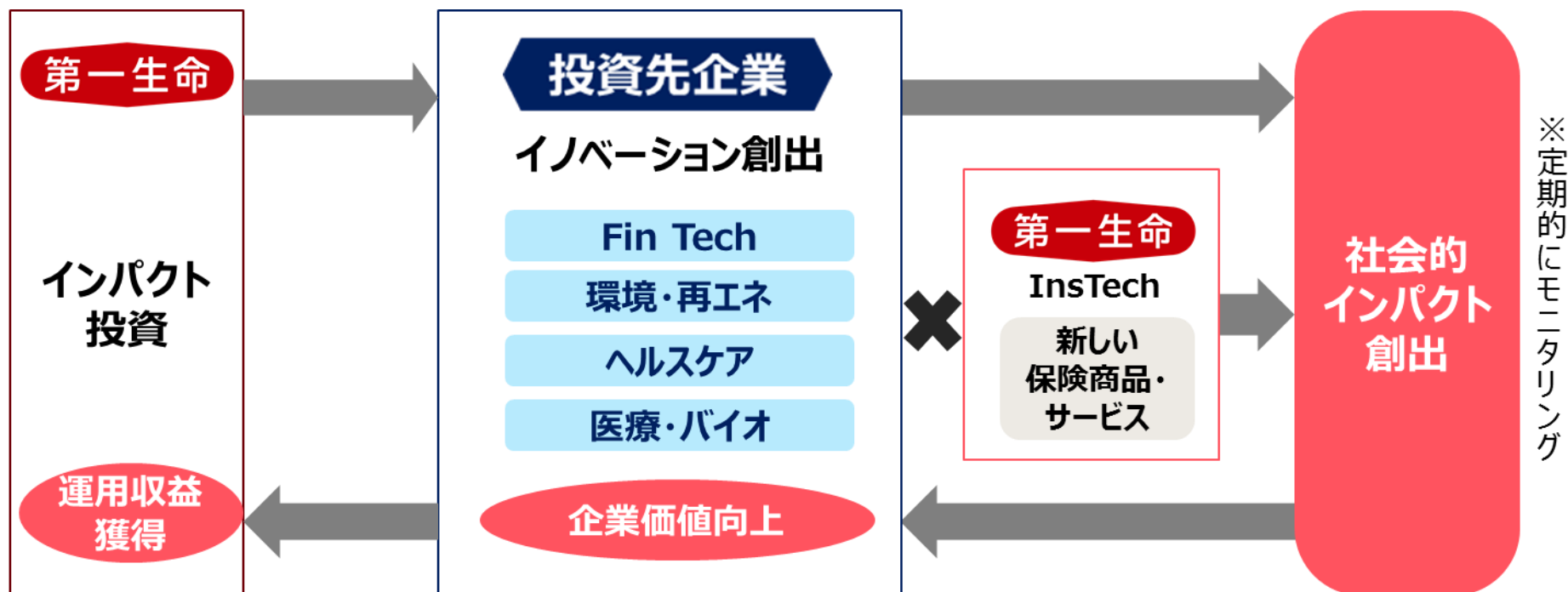


第一生命におけるESG投資手法の定義

インパクト投資は2017年より開始

ESG投資手法	定義
ESGテーマ型投資	収益性を前提とした、社会課題解決に繋がるテーマを持った資産等への投資
SDG s 債等への投融資	SDGs達成に資する事業を推進する国際機関・企業等への資金提供 (グリーンボンド・ソーシャルボンド・サステナビリティボンド等)
SDG s 事業への投融資	SDGs達成に資する事業 (社会インフラ整備・環境保全等) への資金提供
インパクト投資	運用収益の獲得と社会的インパクトの創出 (社会の構造変化等) の両立を意図して投資判断を行う投資手法
ESGインテグレーション	投資プロセスへのESG要素の体系的な組込
リサーチへの組込	企業分析・評価においてESG要素を体系的に組込
ポジティブ・スクリーニング	ESG格付等が高い企業でポートフォリオを構築
ネガティブ・スクリーニング	特定の業種・企業等をポートフォリオから除外
ESG対話	ESG課題に関する、投資先企業とのエンゲージメント活動

第一生命におけるインパクト投資の狙い



(案件選定の視点)

① 経営者が社会課題解決に向けた**明確なビジョン**を有していること

② 社会的インパクトの**実現可能性**

事業の革新性

×

市場シェア

(インパクト評価の手法)

投資前に「インパクト評価のKPI」設定を**経営者と合意**し、定期的なモニタリングを実施

① 一次スクリーニング

- 投資検討先企業がもたらす「社会的インパクト」を特定
- 社会的インパクトの定期的なモニタリングが可能か確認

インパクト投資の判断基準

- ①社会課題解決（アウトカムの実現）に向けた明確な経営ビジョンを有しているか
- ②アウトカムの実現可能性（革新性／市場シェアの大きさ）

② 経営者面談を通じた意思確認

- 投資検討先企業の経営者と面談を実施し、投資検討先企業の経営者が、当社が期待する社会的インパクトを生み出す強い意思を持っているか確認

③ 責任投資会議における審議

- 投資検討先企業の社会的インパクトおよびそのモニタリング方法について、対外説明力等の観点から妥当性を審議

④ 投資実行の決裁取得

- 責任投資会議の審議を踏まえ、投資執行所管で投資実行の決裁を取得

⑤ 責任投資委員会宛の報告

- インパクト投資の実行済案件について、責任投資委員会に定期的に報告

インパクト投資実績（一覧）

※2020年8月末時点

累計投資金額 約68億円（16件）

運用収益の獲得と社会的インパクトの創出（社会の構造変化等）の両立を意図した投資

	企業名	事業概要	投資金額		企業名	事業概要	投資金額	
QOL向上	 CureApp	ニコチン依存症等の治療アプリの研究	10億円			低視力患者向けアイウェア等の開発	3億円	
	 SUSMED Sustainable Medicine	不眠症治療用アプリの研究・開発	1億円		 Neurotrack	目の動きで認知機能を測る「認知機能テスト」等の開発	8億円	
	 MELTIN	危険環境下の労働代替が期待できるアバターロボットの開発	3億円		 Integral Geometry Science	乳がんの早期発見を実現する診断システムの開発	2億円	
	 MOLCURE	AIを活用した医薬品開発プラットフォームの開発	1億円		 UniFa	スマート保育園の実現に向けたIoTやAIを活用したソリューションの開発	3億円	
	 MODULUS	高度な計算科学技術を用いて新規医薬品開発	2億円		 Life is Tech!	中高生向けにIT・プログラミング教育サービスを開発・提供	2億円	
	 豊中市 CureApp	CureAppが事業者を担う豊中市の禁煙事業を対象とする世界初の禁煙ソーシャル・インパクト・ボンド	0.12億円					
気候変動	 Spiber	化石燃料を原料とした素材に代わる新世代バイオ素材の開発	10億円		 株式会社環境エネルギー投資	環境・エネルギー分野に特化したベンチャーファンド	10億円	
	 Challenergy	「台風でも発電できる」風力発電の開発	2億円					
その他	Gojo & Company, Inc.	発展途上国におけるマイクロファイナンス事業	10億円		 CROWD CREDIT	「融資型クラウドファンディング」サービスの提供	1億円	

※上記一覧には上場株式によるインパクト投資は含まれません。

案件概要	社会的インパクト	投資金額	投資時期		
<p>ユニファ</p> <ul style="list-style-type: none"> 保育士が働きやすいスマート保育園の実現に向けたIoTやAIを活用したソリューションを開発・提供するベンチャー企業 	<p>保育園の労働環境改善を通じた 待機児童問題の解決</p>	3億円	2019/9		<p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p> <p>8 働きがいも経済成長も</p> 
<p>ライフイズテック</p> <ul style="list-style-type: none"> 中学生・高校生向けIT・プログラミング教育サービスの開発・提供を行うベンチャー企業 	<p>プログラミング教育の提供を通じた IT人材不足の解消</p>	2億円	2019/1 1		<p>4 質の高い教育をみんなに</p> 
<p>ソーシャル・インパクト・ボンド</p> <ul style="list-style-type: none"> 大阪府豊中市の禁煙事業「とよなか卒煙プロジェクト」を対象とする世界初の禁煙ソーシャル・インパクトボンド 	<p>禁煙サポートによる 健康寿命延伸</p>	1200万円	2019/1 1		<p>3 すべての人に健康と福祉を</p> 
<p>モジュラス</p> <ul style="list-style-type: none"> 計算科学を用いた低分子医薬品開発を行うベンチャー企業 創薬に計算科学を用いることで、開発期間短縮と実験の削減等を通じた開発コストの削減につなげる 	<p>医薬品の開発期間短縮・コスト削減を通じた 万人がアクセスしやすい医療の実現</p>	2億円	2020/5		<p>3 すべての人に健康と福祉を</p> 

ご清聴ありがとうございました